

新大阪駅の営業体制等見直しについて業務委員会開催！

11月1日、関西地区分会が申し入れていた「新大阪駅改良工事に伴う新幹線のりば（中央口）の営業体制等の見直し」に対する業務委員会が開催されました。申し入れに対する会社の回答（要約）は以下の通りです（詳細は関西業務ニュースNo. 199を参照）。

* 中央口において乗車旅客の増が見込まれるため体制を強化した。

* 作業ダイヤは11月の営業勉強会で説明する。

* 中央東出札（旧乗車口出札）は現行通り再開する。

* 中央口に団体用通路を設置するから団体の利用は出来るようになる。

地本は業務委員会において以下のように会社とのやりとりを行いました。

組合：中央口の乗客増をどのように見込んでいるのか。

会社：工事中の困りが取れば視認性が上がるためお客様が増えると思込んでいる。

組合：休みの日に営業勉強会を指定される場合がある。休みを外して指定すること。

会社：業務・作業分担を考慮しながら指定するが、休みに指定する場合がある。

組合：J R東海とツアーズの窓口が一緒に並んでいるのはどうしてか。

会社：それは答えられない。

組合：お客様はどちらの窓口なのかわからない。過去に領収書をツアーズ窓口でもらおうとしたが、J R東海の窓口になり苦情が発生している。対策が必要である。

会社：購入時に案内を含めた対応で対処できる。

組合：精算所では異常時や多客時には超勤対応でやりくりをしている。

会社：作業ダイヤを考慮し基本は常時1窓口を開けている。異常時は休憩している社員や改札で案内している社員を補強しているので問題ない。

組合：精算ができる社員を増やして異常時等に対応できる体制にすべきである。

会社：作業ダイヤを考慮して臨機応変に対応している。これまで中央窓口に応援を依頼していたのが、今回の4名増で精算所に入れるようになる。

組合：各精算所（中央口、南口、乗換口）に要員を増やすべきだ。

会社：異常時や多客時になれば対応している。

組合：コンコース関係の工事は今回で終了なのか。

会社：今回の工事で終了である。

J R東海とツアーズの窓口が一緒に並ぶことや、異常時や多客時に超勤で対応している精算所の現状などの問題を解決するように主張しましたが、会社は「現行通りとする」と不誠実な回答に終わりました。今回申し入れを行った項目を含めて、これからも職場の問題点の解決に向けて粘り強く取り組んでいきます。